

令和7年10月23日(木) 令和7年度 第7号

さいたま市立泰平中学校



学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校
— 大好きTAHEI —

「合唱コンクールによせて」

校長 宮内 和典

立冬を間近に控え、朝夕の冷え込みが季節の移り変わりを感じさせるとともに、学校周辺の景色もめっきり秋色になり、秋の深まりを感じられる季節となりました。一日の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期ですので、体調管理には注意が必要です。

さて、校内では、新人体育大会を終えたところから10月24日(金)に開催される合唱コンクールに向けての練習が本格的に始まり、校内巡回中に、心地よいハーモニーに癒やされる日々を過ごしていました。

さて、中学生の合唱の醍醐味の1つとして、成長とともに声の質も変わっていく中で、3年間の中で完成度が増していく楽しさがあると思います。初々しい1年生の発声が、学年が上がるにつれて大人に近い声になっていき、3年生になると、曲に高音で華やかさや美しさを与えるソプラノ、低音で深みや厚みを出してくれるアルトやバスなど、様々なパートの声が、力強く豊かな音の広がりをつくり、美しいハーモニーを生み出し、曲に華やかさを与えて、3年間での生徒の成長を感じさせてくれます。そして、中学校という場所で、学年やクラスみんなで合唱をするという経験と学びは、どの中学校においても普通の日常であり見慣れた光景です。しかし、大人になるとどうでしょうか。合唱を鑑賞して楽しむということはあるかと思いますが、自分自身が、職場などで合唱を行い楽しむことは、趣味でサークルや団体にでも入らない限り経験することは、無いように思えます。高校や大学、専門学校などに進学しても同様だと思います。(進学先によっては、学年やクラスといった単位で合唱を経験するかもしれませんが)しかし、少し深く考えてみると、クラス合唱に限らず「どの中学校においても普通の日常であり見慣れた光景は、大人になるにつれて、到底経験することができない貴重なこと」で中学校は溢れかえっているのではと、生徒の合唱を聞きながら改めて強く感じていました。中学校生活という3年間で、どの生徒にも仲間と共に1つのことに取り組む楽しさや喜びを1つでも2つでも、どのような形の参加でもよいので、経験をしてもらえたらと思います。

保護者の方へ

10月28日(火)より、三者面談を実施させていただいております。保護者の皆様には、お忙しい中とは存じますが、御協力いただきありがとうございます。短い時間ではありますが、家庭と学校での様子を共有し、一丸となって子どもの成長を後押ししていけるように、子どもをどのように支えていくかを話し合える場となればと思います。

新人体育大会 頑張りました



9月下旬より、市新人体育大会が実施されました。どの部活動もチーム一丸となって戦うことができました。陸上、卓球、剣道等各部で県大会出場が決まりました。

さいたま市中学校駅伝大会も頑張りました



10月24日さいたま市中学校駅伝競走大会が行われました。夏休み前から練習を始め、暑い夏を乗り切ってこの大会に臨みました。結果は男子34位、女子28位でした。順位だけでなく泰平中学校代表という、強い自覚をもって取り組んだ選手たちに拍手を送りたいと思います。